

一昨日（7月24日）に配信した、逆ラジオ通信 No.29 W-250724 のトピックスに  
 “今週は中部から九州にかけて広範囲で、【浜北 017】【伊勢 B 261】【大分別府】【広島】  
 【山口柳井】が減衰してきており・・・、各地で大地震の可能性が高まっています。” と載せました。  
 これらの長期大型データの中で、メインとなる【浜北 017】【伊勢 B 261】【広島】の各地のデータを  
 60 日間で、さらに拡大してみると、次のように、なぜか類似性がみられます。

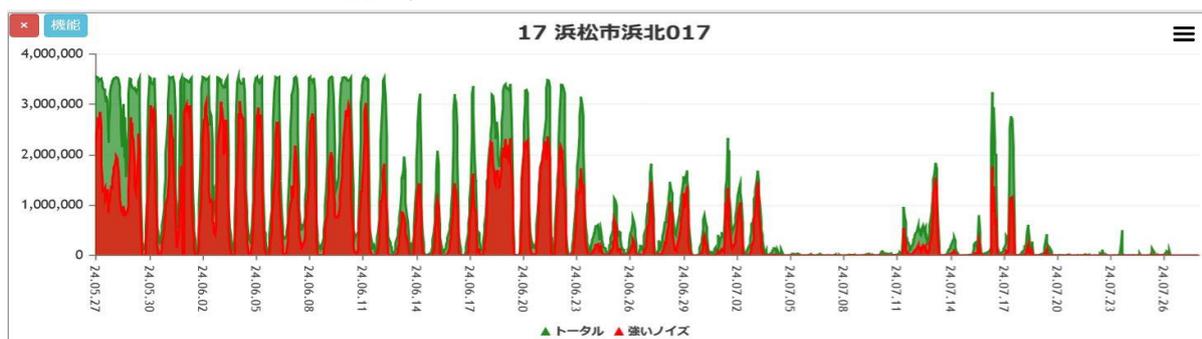
つまりこれら 3 か所のデータはどれも

- ① 7/4 ごろにいったん減衰し、
- ② 7/10 ごろにリバウンドで再上昇し、
- ③ 7/17 ごろに再度減衰している、という共通点が見られます。

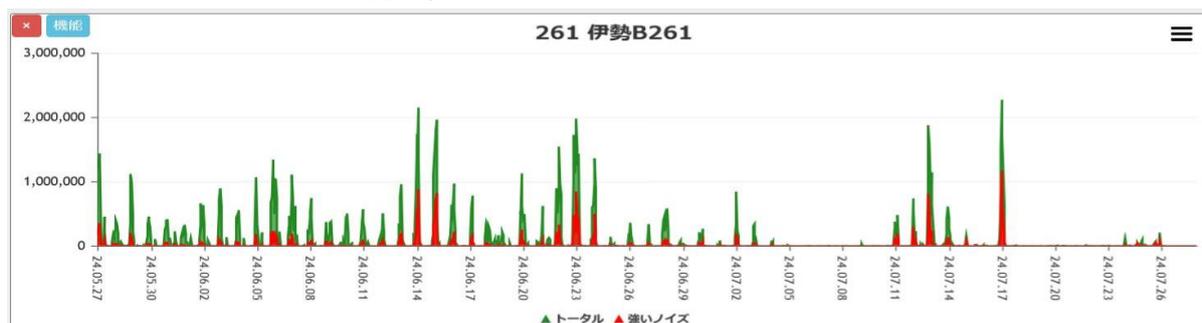
また【伊勢 C330】と【山口柳井】のデータを 90 日間の日毎データにしたとき、こちらもとてもよく似た形をしています。（なお【大分別府】は、形は違いますが、減衰のタイミングは一緒です。）

このように、表示されたデータの形に共通点がある、ということは、電磁波ノイズを発生させる大元（おおもと）の地下の動きが同じものであり、それぞれの観測点が同じ動きを捉えている、とも考えられます。仮にそうだとすると、個々の観測点は別々の地震の予兆でなく、1 つの大きな地震の予兆を捉えており、これらの観測点の中間位置での大地震を考える必要があります。【浜北 017】から【伊勢 B 261】【伊勢 C330】、少し飛んで【広島】【山口柳井】【大分別府】の中間地点は、単純に考えると、本州側は兵庫、岡山あたり、四国側は、香川、徳島あたり、あるいはその太平洋側が震源になることも考えられます。いずれにせよ、もうしばらくの間、該当する地域の方がたには十分な注意をお願いします。

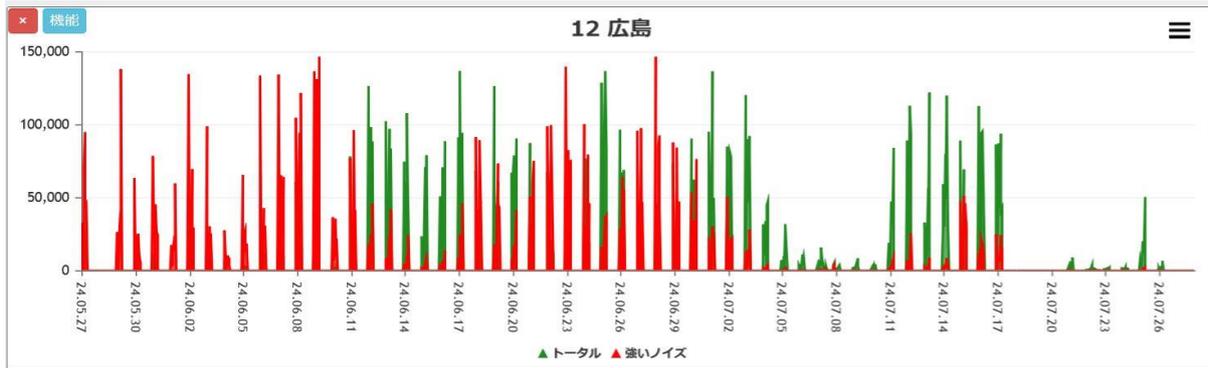
浜北 017 60 日間データ（拡大）



伊勢 B261 60 日間データ（拡大）

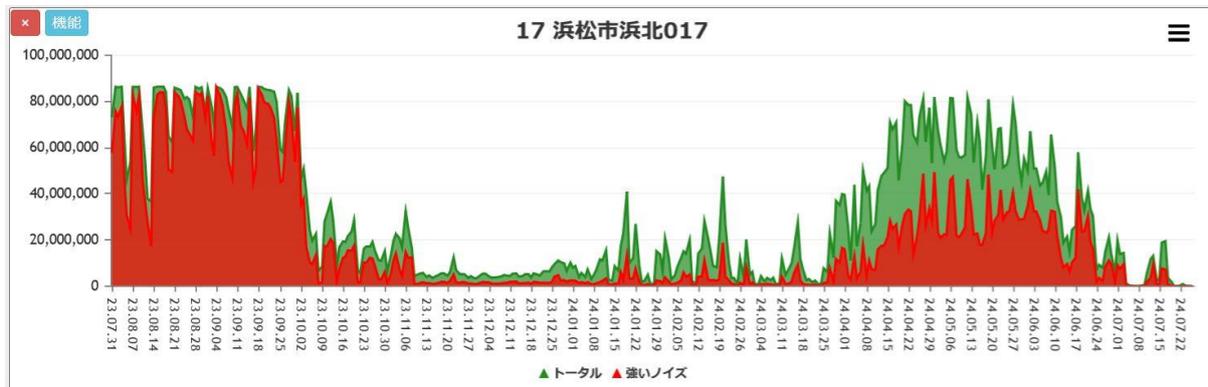


広島 60 日間データ (拡大)

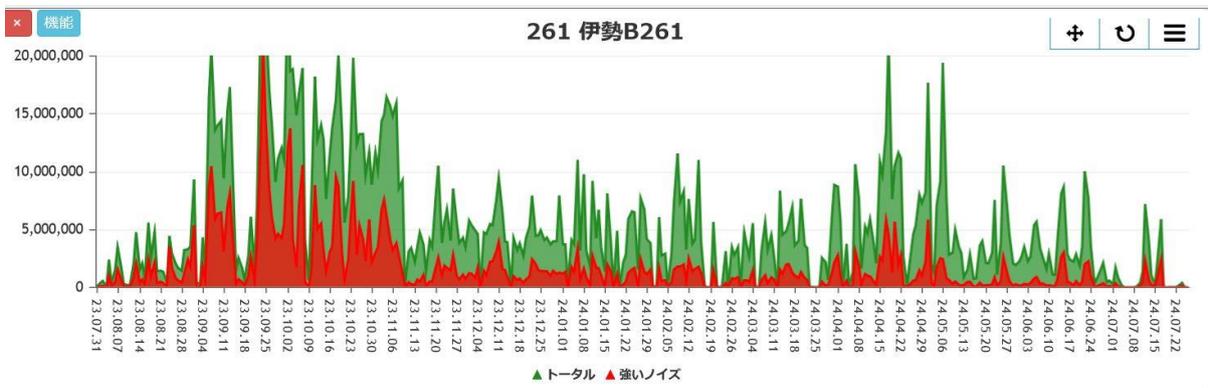


<各地 360 日間 (日毎) データ こちらも増減のタイミングが似ている>

浜北 017 360 日間データ (日毎)



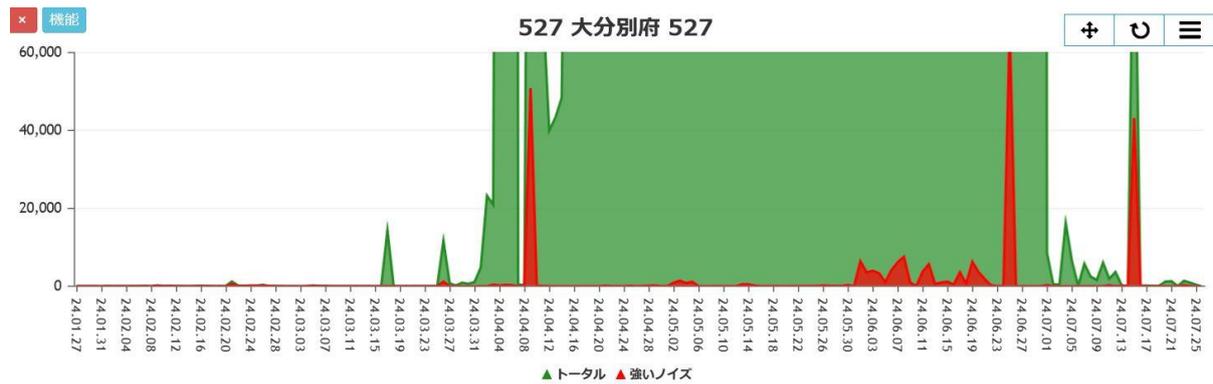
伊勢 B261 360 日間データ (日毎)



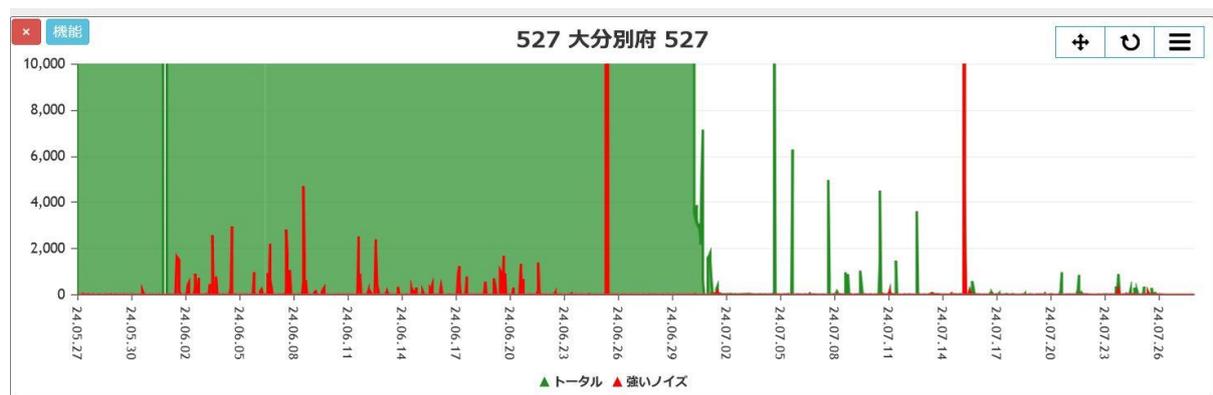
広島 12 360 日間データ (日毎)



### 大分県 180日間（日毎）データ

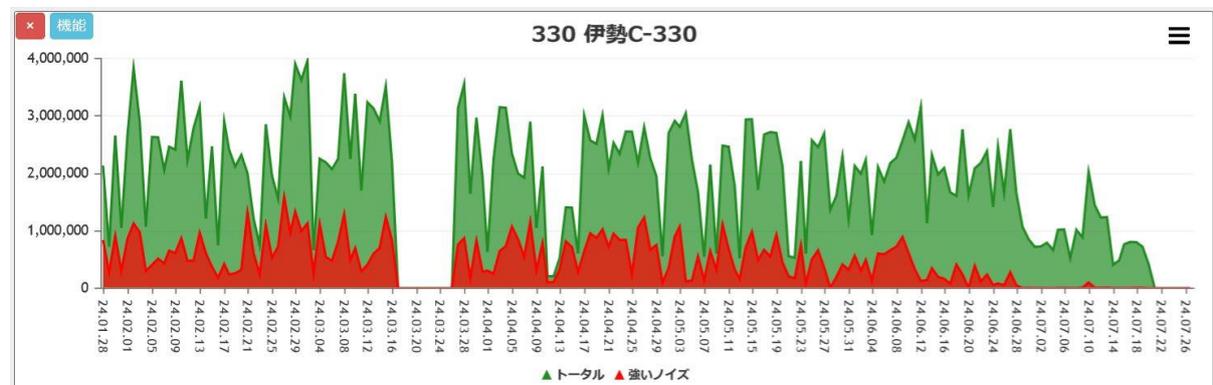


### 大分県 60日間（日毎）データ

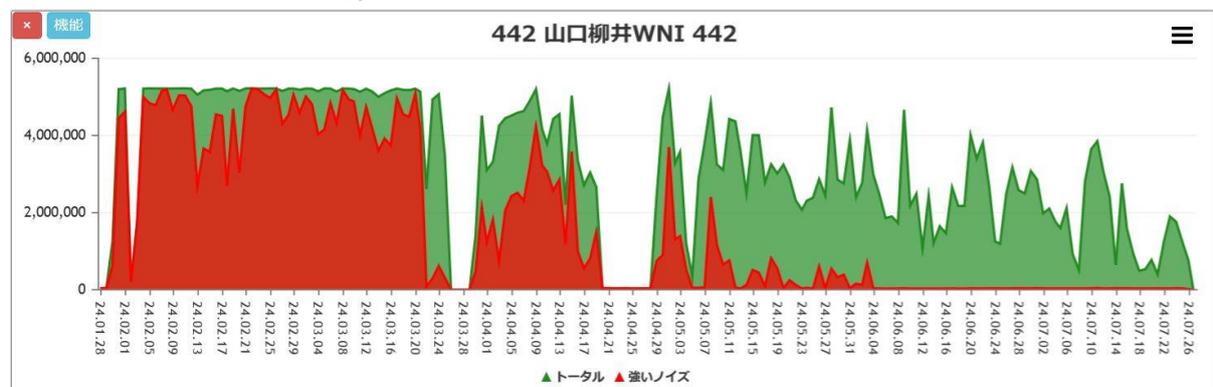


<伊勢 C330と山口柳井 180日間（日毎）データも似た形になっている>

### 伊勢 C330 180日間（日毎）データ



### 山口柳井 180日間（日毎）データ



## 位置関係

